

# 発達する熱帯低気圧に関する説明

この資料は、9月22日09時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

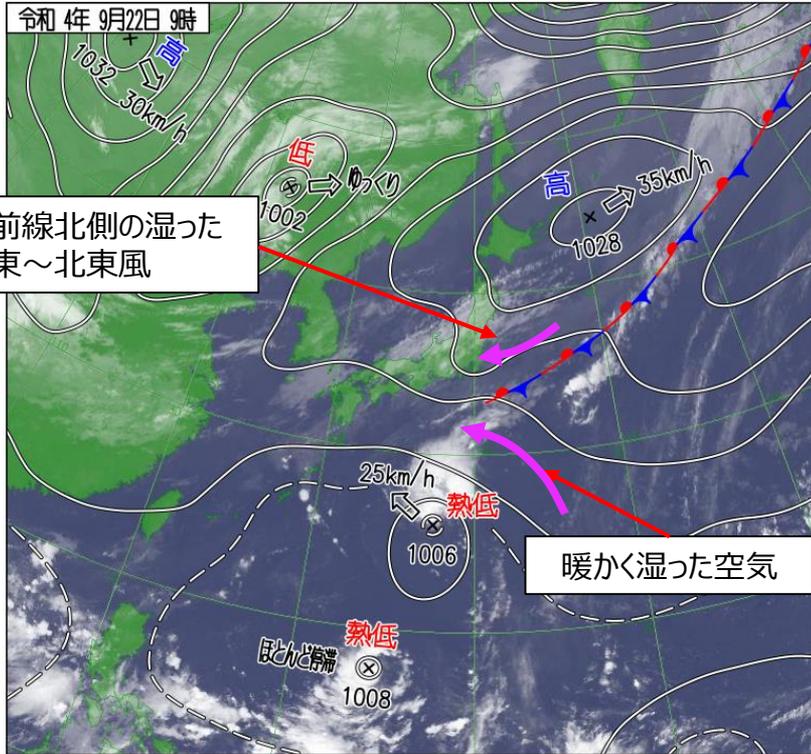
大阪管区気象台気象防災部予報課

# 発達する熱帯低気圧の影響とポイント

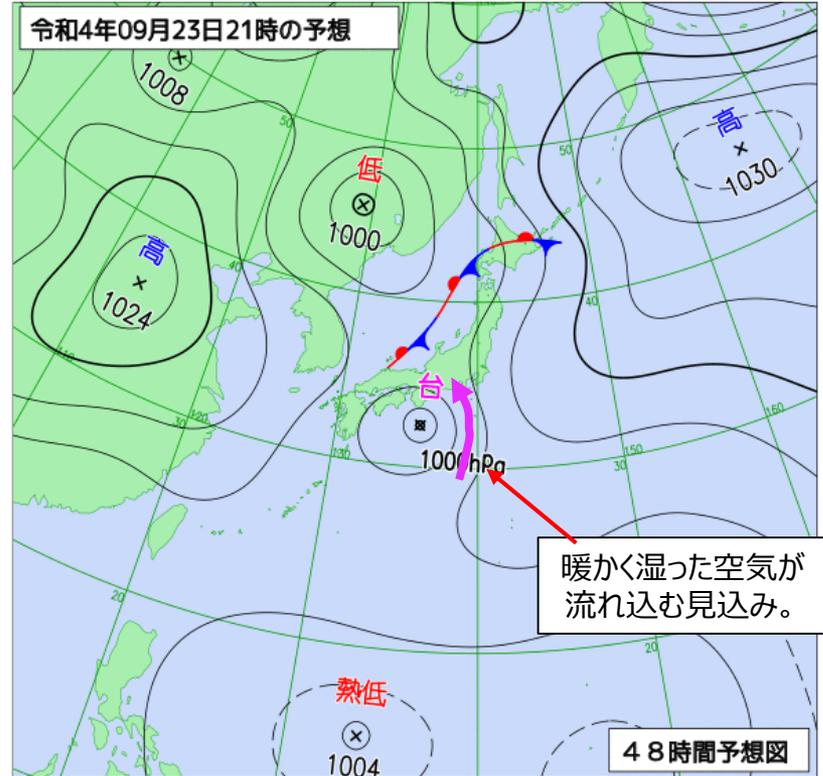
- ① 熱帯低気圧は、日本の南を発達しながら北上し、23日12時頃までに台風となって、近畿地方には23日夜～24日午前中にかけて、かなり近づく見込み。
- ② 近畿地方では23日昼前から24日にかけて、大気の状態が不安定となり、大雨となるおそれ。特に、東よりの湿った空気の吹き付ける和歌山県南部や奈良県南部、伊勢湾から湿った南東風が流れ込む滋賀県を中心に、断続的に雨が降り、総雨量が多くなるおそれ。
- ③ 近畿南部では、24日にかけて高波や強風に注意。

# 地上天気図と気象衛星赤外面像

令和4年9月22日09時



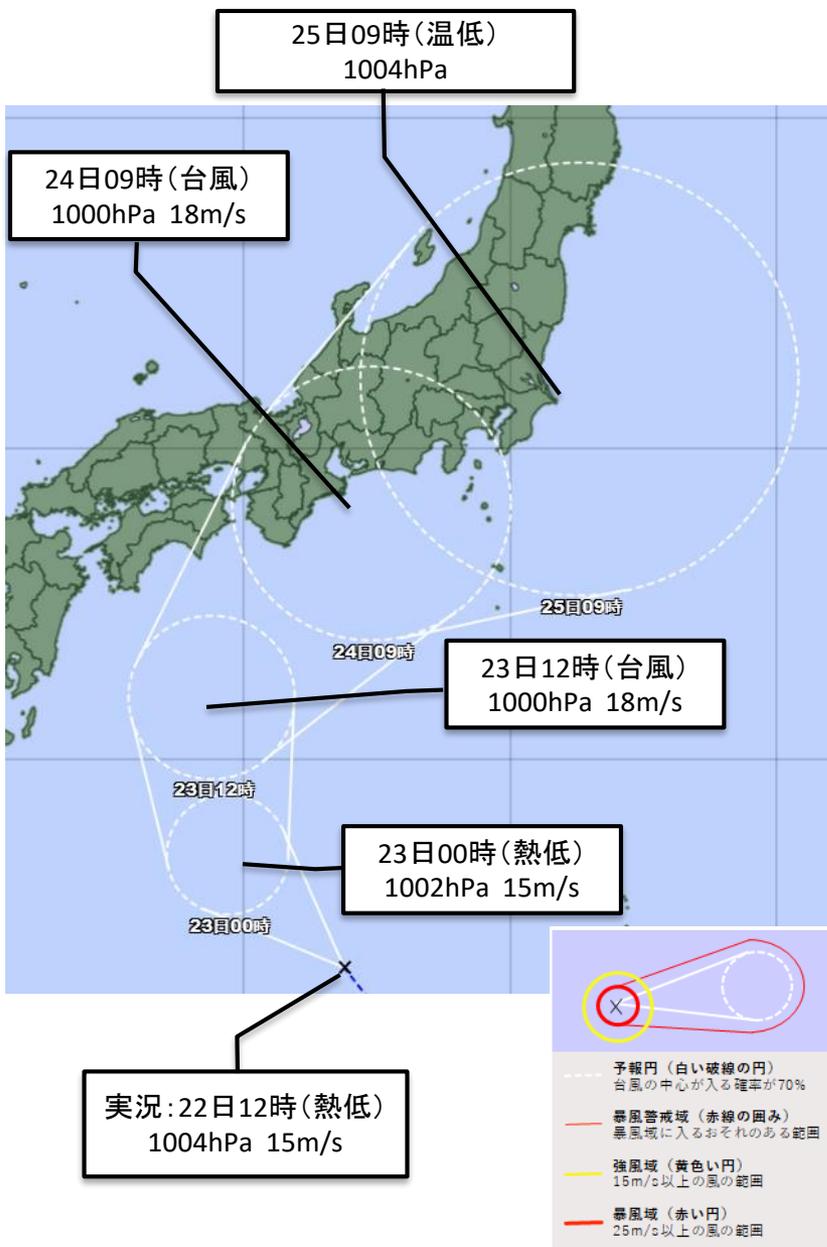
令和4年9月23日21時の予想



- 千島近海の高気圧から湿った東～北東風の吹き付けで、紀伊半島中心に断続的に雨が降っている。
- 熱帯低気圧の北側に発達した雨雲がある。紀伊半島の南東斜面などでは断続的な雨が降る見込み。

- 熱帯低気圧は、発達しながら日本の南を北上して23日12時頃までに台風となる見込み。

# 熱帯低気圧の進路予想 22日12時現在



22日12時実況

種別	熱帯低気圧
大きさ	-
強さ	-
存在地域	日本の南
中心位置	北緯26度30分 (26.5度) 東経136度55分 (136.9度)
進行方向、速さ	北西 25 km/h (13 kt)
中心気圧	1004 hPa
中心付近の最大風速	15 m/s (30 kt)
最大瞬間風速	23 m/s (45 kt)

23日00時予報

種別	熱帯低気圧
強さ	-
存在地域	日本の南
予報円の中心	北緯28度25分 (28.4度) 東経134度40分 (134.7度)
進行方向、速さ	北西 25 km/h (14 kt)
中心気圧	1002 hPa
中心付近の最大風速	15 m/s (30 kt)
最大瞬間風速	23 m/s (45 kt)
予報円の半径	110 km (60 NM)

23日12時予報

種別	台風
強さ	-
存在地域	日本の南
予報円の中心	北緯31度00分 (31.0度) 東経134度25分 (134.4度)
進行方向、速さ	北 25 km/h (13 kt)
中心気圧	1000 hPa
中心付近の最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	150 km (80 NM)

24日09時予報

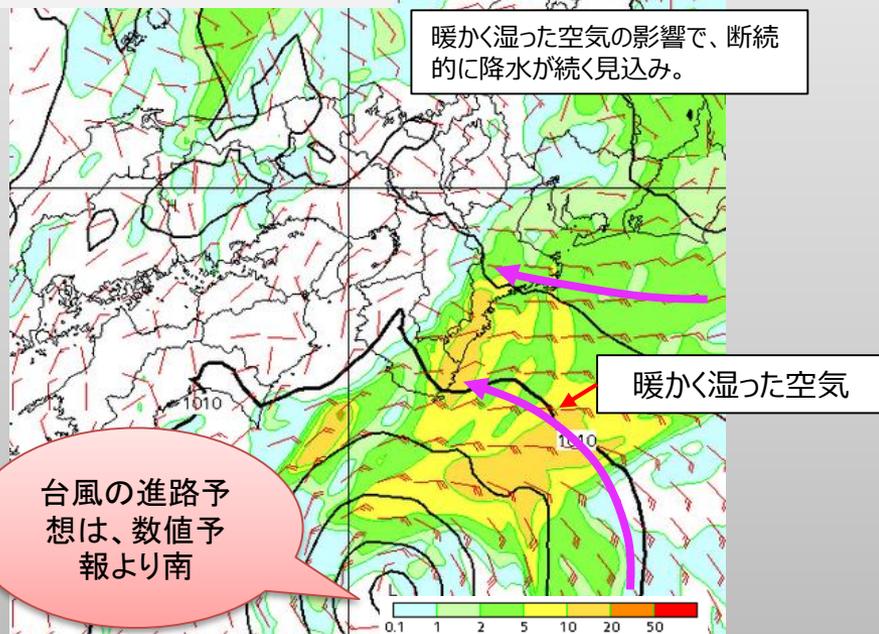
種別	台風
強さ	-
存在地域	御前崎市の南西約90km
予報円の中心	北緯34度05分 (34.1度) 東経137度25分 (137.4度)
進行方向、速さ	北北東 20 km/h (12 kt)
中心気圧	1000 hPa
中心付近の最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	240 km (130 NM)

# 防災事項（9月22日から24日頃にかけて） 22日11時現在

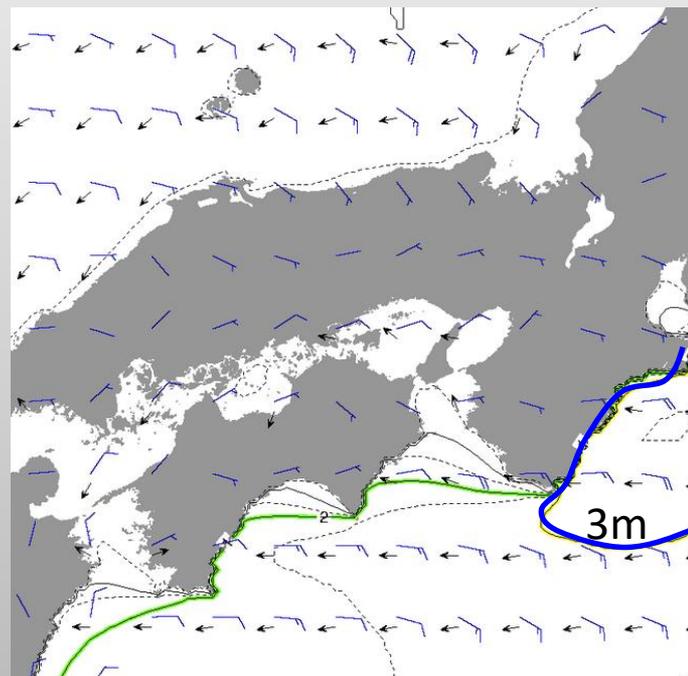
- 台風が予報円の中心を通った場合、23日夜から24日午前中にかけて近畿地方にかなり近づくおそれ。
- 近畿地方では、大気の状態が不安定となり、23日昼前から24日にかけて大雨に十分注意。特に、東よりの湿った空気が吹きつける和歌山県南部や奈良県南部、伊勢湾からの湿った南東風が流れ込む滋賀県では、台風が近づく前から断続的に雨が降り、総雨量が多くなるおそれ。台風第14号の影響により地盤の緩んでいる所では土砂災害の危険度が高まるおそれ。
- 近畿南部では24日にかけて、強風や高波に注意。

この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水や波の面的分布をイメージとして、ご覧ください。

数値予報23日09時予想



波浪・海上風 22日21時の予想



# 今後の気象状況

22日 11時現在

## 【近畿地方への影響】

		22日					23日					24日						
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
台風最接近																		
大雨・洪水 (ミリ)	近畿北部	1	1	5	5	1	1	1	5	10	20	20	15	10				
	近畿中部	10	10	10	10	10	15	15	20	30	30	30	30	30				
	近畿南部	20	20	20	30	30	30	30	40	40	40	30	30	30				
大雨(土砂)	近畿北部																	
	近畿中部																	
	近畿南部																	
雷	近畿北部									注	注	注	注	注				
	近畿中部								注	注	注	注	注	注				
	近畿南部	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注				
暴風 (メートル)	近畿北部陸上	4	5	6	6	6	6	6	5	5	5	4	4	5				
	近畿北部海上	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8				
	近畿中部陸上	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10				
	近畿中部海上	12	12	12	12	12	10	10	10	8	8	8	12	12				
	近畿南部陸上	12	8	8	8	6	5	5	5	5	4	5	12	12				
	近畿南部海上	15	12	10	10	8	7	7	7	7	7	7	15	15				
波浪 (メートル)	近畿北部	1	1	1	1	1	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5				
	近畿中部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.5	2	2				
	近畿南部	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2.5	2.5	3	3				

警報級 注意報級

・1時間降水量

22日	23日
近畿北部 5ミリ	20ミリ
近畿中部 10ミリ	30ミリ
近畿南部 30ミリ	40ミリ

・24時間降水量 (22日12時～23日12時)

近畿北部 30ミリ
近畿中部 80ミリ
近畿南部 150ミリ

・24時間降水量 (23日12時～24日12時)

近畿北部 50-100ミリ
近畿中部 50-100ミリ
近畿南部 100-200ミリ

・風

22日	23日
近畿北部 陸上 6メートル	6メートル
近畿北部 海上 8メートル	8メートル
近畿中部 陸上 10メートル	10メートル
近畿中部 海上 12メートル	12メートル
近畿南部 陸上 12メートル	12メートル
近畿南部 海上 15メートル	15メートル

・波

22日	23日
近畿北部 1メートル	1メートル
近畿中部 1メートル	2メートル
近畿南部 4メートル	3メートル

警報級の可能性（明日まで）

細分名	雨		
	12-18	18-06	06-24
〔滋賀県〕 南部	-	-	中
〔滋賀県〕 北部	-	-	中
〔京都府〕 南部	-	-	-
〔京都府〕 北部	-	-	-
〔奈良県〕 北部	-	-	-
〔奈良県〕 南部	-	-	中
〔大阪府〕 大阪府	-	-	-
〔兵庫県〕 南部	-	-	-
〔兵庫県〕 北部	-	-	-
〔和歌山県〕 北部	-	-	-
〔和歌山県〕 南部	-	-	中

警報級の可能性（明後日以降）

細分名	雨			
	24日	25日	26日	27日
〔滋賀県〕 滋賀県	中	-	-	-
〔京都府〕 京都府	-	-	-	-
〔奈良県〕 奈良県	中	-	-	-
〔大阪府〕 大阪府	-	-	-	-
〔兵庫県〕 兵庫県	-	-	-	-
〔和歌山県〕 和歌山県	中	-	-	-

## 三重県の量予想

1時間降水量	22日	23日
北中部	30ミリ	60ミリ
南部	50ミリ	60ミリ

- 24時間降水量（22日12時～23日12時）
  - 北中部 150ミリ
  - 南部 150ミリ
- 24時間降水量（23日12時～24日12時）
  - 北中部 100-200ミリ
  - 南部 100-200ミリ

# 今後の気象状況

22日 11時現在

## 【大阪府への影響】

		22日					23日					24日						
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
台風の最接近																		
大雨・洪水 (ミリ)	大阪府	1	1	1	1	1	1	5	10	20	20	20	10	10				
大雨(土砂)	大阪府																	
雷	大阪府								注	注	注	注	注	注	注			
暴風 (メートル)	陸上	8	8	8	8	6	6	6	5	5	5	4	4	4				
	海上	10	10	10	10	8	8	8	7	7	7	6	6	6				
波浪 (メートル)	大阪府	1	1	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5				

警報級

注意報級



サブシナリオ：注意報級

・1時間降水量  
大阪 22日 3ミリ 23日 20ミリ

・24時間降水量 (22日12時～23日12時)  
大阪 60ミリ

・24時間降水量 (23日12時～24日12時)  
大阪 50-100ミリ

・風 22日 23日  
大阪 陸上 8メートル 6メートル  
大阪 海上 10メートル 8メートル

・波 22日 23日  
大阪 1メートル 0.5メートル

# 今後の台風に向けて

- ◆ 近畿地方では24日にかけて、熱帯低気圧から変わった台風の影響により、大雨となるおそれがあります。特に奈良県南部や和歌山県南部、滋賀県を中心に、断続的に雨が降って総雨量が多くなるため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水のおそれがあります。お住いの地域がどのような災害が起こりやすいかハザードマップ等で確認するなど、油断することなく台風への十分な備えをお願いします。
- ◆ 熱帯低気圧の北上の影響により、南海上では強風や高波のおそれがあります。
- ◆ 今後の熱帯低気圧の動向に留意してください。気象台が発表する警報・注意報などの最新の気象情報、キキクル（危険度分布）を確認するとともに、市町村からの避難に関する情報等に留意してください。
- ◆ 23日から24日にかけて、熱帯低気圧から変わった台風の影響で、近畿南部を中心に風や波が強まるおそれがあります。特に連休期間中ということもあり、海などのレジャーでは高波等に注意してください。遠出の予定のある方は、余裕を持った計画を立てていただくと共に交通機関からの情報に留意してください。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>

洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>

- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre\\_rct/index24\\_rct.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind\\_rct/index\\_mxwsp.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html)

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

- 14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/point.pdf](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf)

- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）

<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



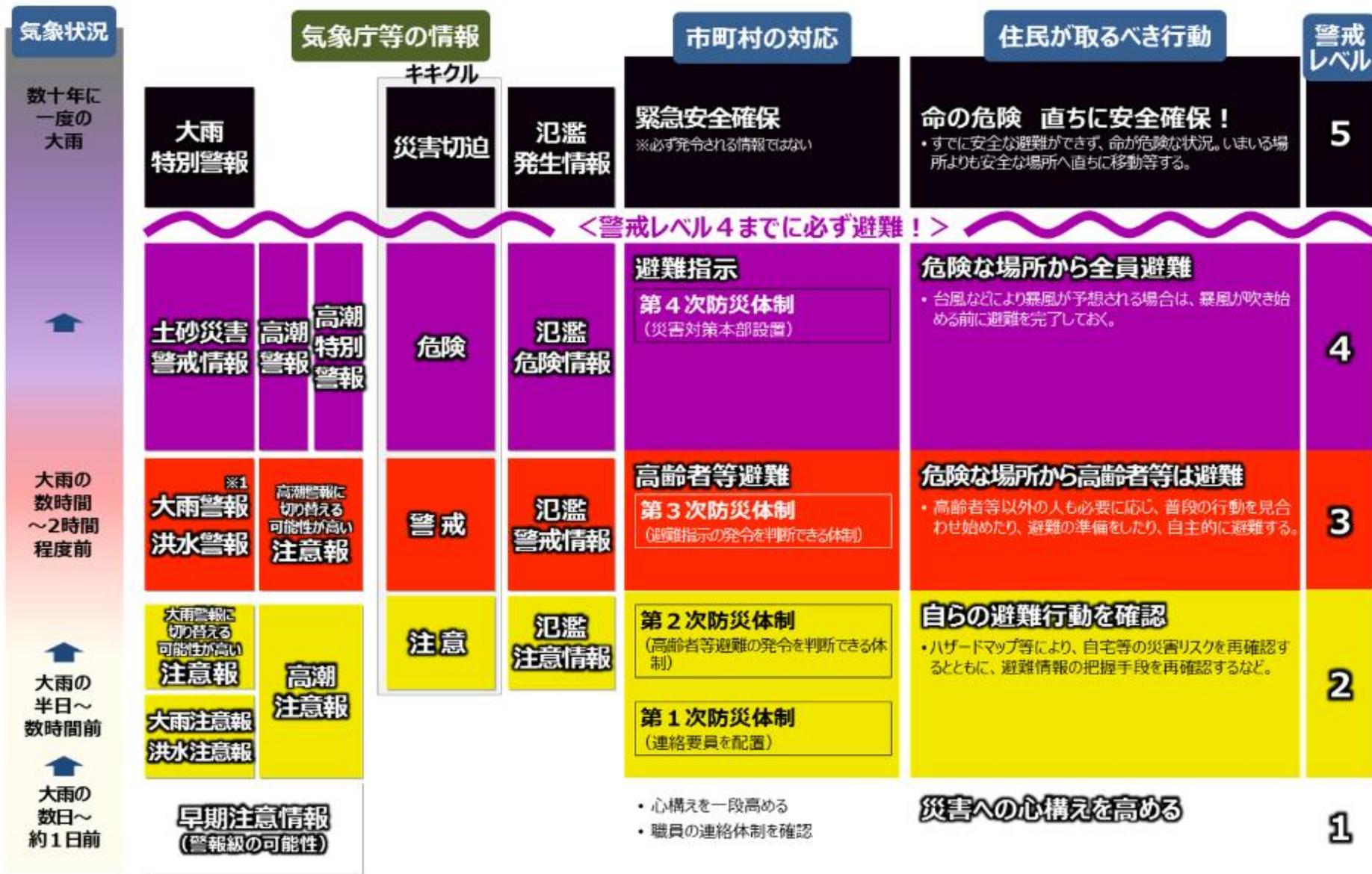
気象庁防災情報  
Twitter

@JMA\_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

# 5段階の警戒レベルと防災気象情報

参考資料



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難行動に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

# 暴風による災害への備え

## 参考資料

- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- ▶ 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- ▶ 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市の警報・注意報（今後の推移）

XXXX年XX月XX日XX時XX分発表

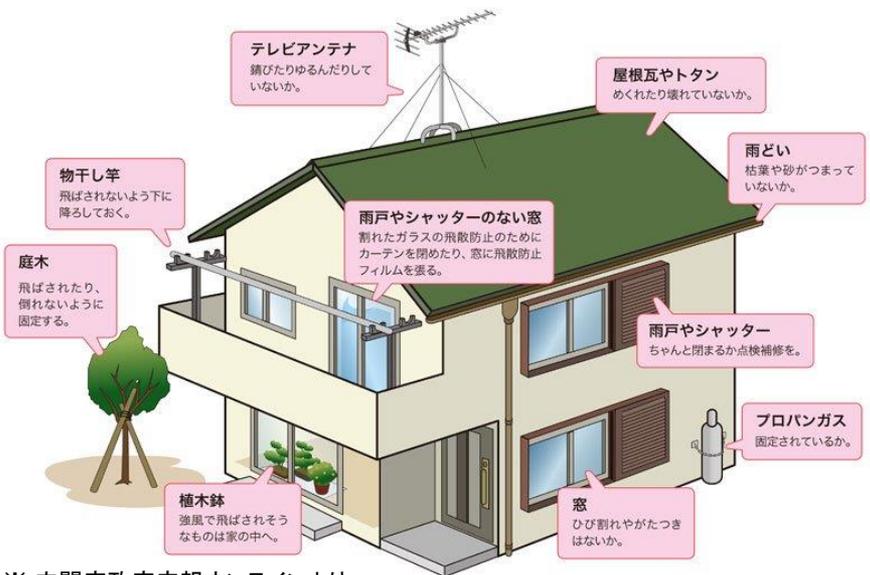
〇〇市	〇〇日								備考・関連する現象
	0-3	3-6	6-9	12-15	15-18	18-21	21-24	〇〇日	
暴風	陸上	△	△	△	△	△	△	△	
	海上	△	△	△	△	△	△	△	以後も注意報級

▲ 暴風警報

▲ 陸上では昼過ぎから  
風速20メートル

■ 暴風警報の期間  
■ 強風注意報の期間

### 〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまってい ないと立っていられ ない。飛来物によっ て負傷するおそれ がある。	細い木の幹が折れ たり、根の張ってい ない木が倒れ始め る。看板が落下・飛 散する。道路標識が 傾く。	屋根瓦・屋根葺材が 飛散するものがある。 固定されていない プレハブ小屋が移動 ・転倒する。ビニール ハウスのフィルム（被 覆材）が広範囲に破 れる。	30
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金 属屋根の葺材がめく れる。養生の不十分 な仮設足場が崩落す る。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが 横転する。	多くの樹木が倒れ る。電柱や街灯で倒 れるものがある。ブ ロック壁で倒壊する ものがある。	外装材が広範囲にわ たって飛散し、下地 材が露出するもの がある。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するもの がある。鉄骨構造物 で変形するもの がある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

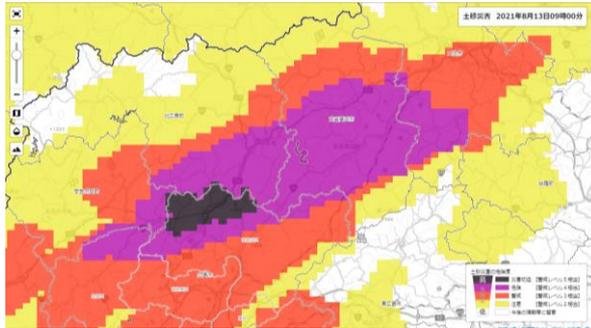
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze\\_index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

# 「キキクル（危険度分布）」を活用して早めの避難を

参考資料

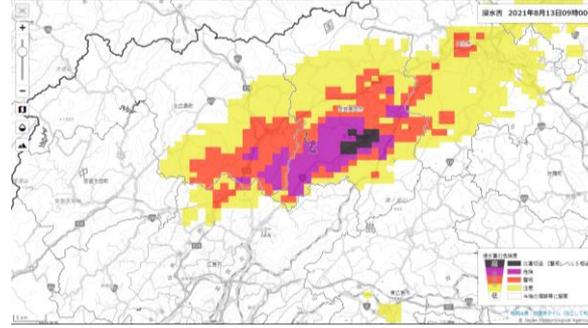
## 土砂キキクル

大雨警報（土砂災害）の危険度分布



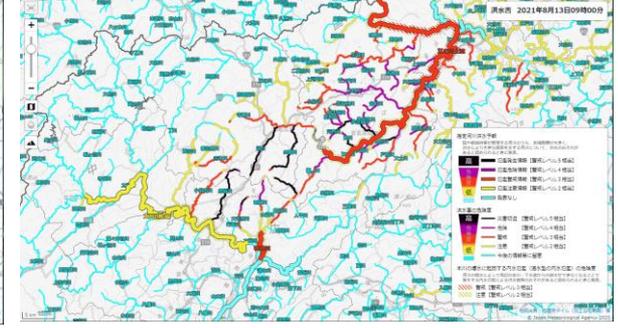
## 浸水キキクル

大雨警報（浸水害）の危険度分布



## 洪水キキクル

洪水警報の危険度分布



**「紫」が出現した段階で  
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

# キキクルの危険度の高まりを見逃さないように

参考資料

国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

> ENGLISH > Other Languages

文字サイズ変更 標準 大

気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 YouTube 気象庁 YouTube

Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

コンテンツの閲覧方法について (よくお寄せいただく質問)

ここをクリック

防災情報 天気 キキクル (危険度分布) 大雨・台風 地震・火山

被災地域等への支援情報

気象科学館

この雨大丈夫?そんな時  
**キキクル**  
大雨・洪水警報の危険度分布

火山登山者向けの  
情報提供ページ

津波から身を守るために  
**津波フラッグ**  
海岸付近でこの津波フラッグを見たらすぐに避難

キキクルが表示

この雨大丈夫?そんな時  
**キキクル**  
大雨・洪水警報の危険度分布

トップページのバナーをタップ

土砂災害 浸水害 洪水 ハザードマップと重ね合わせ

他の災害の危険度を確認できる  
ハザードマップと重ね合わせできる

# 風の強さ

## 風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていけないと 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常ので運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

# 雨の強さ

## 雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の 受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

# 台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

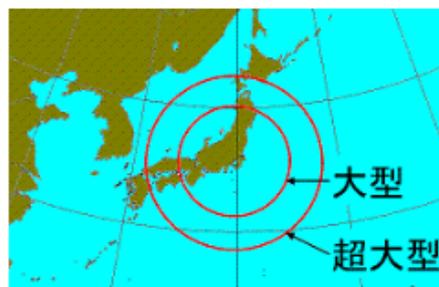
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下のようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

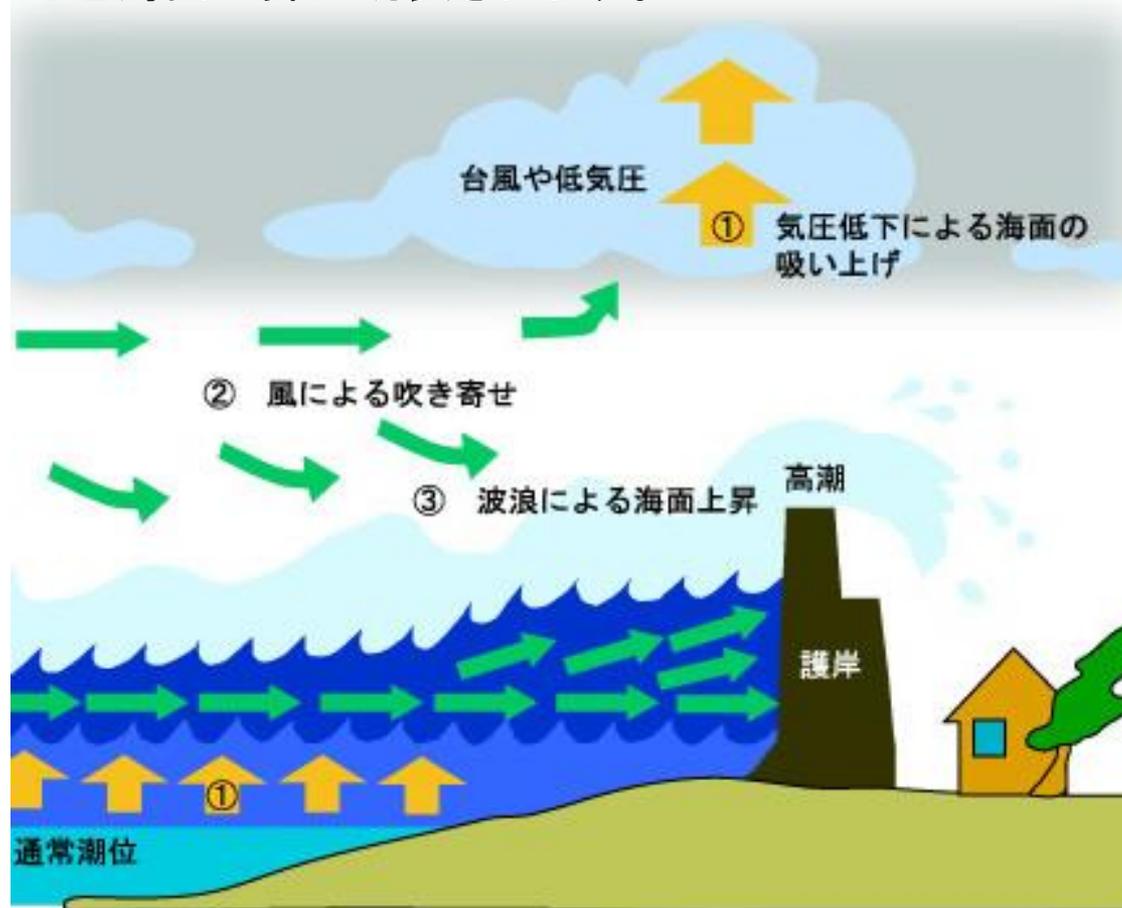
# 高潮の要因

台風により、

- ①気圧低下により海面の上昇
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



# 防災気象情報に用いる 時間細分の用語

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

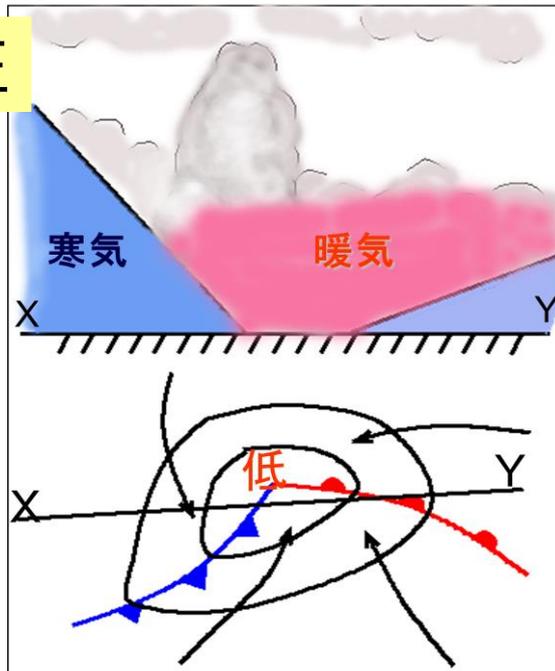
# 台風と熱帯低気圧との違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

## 温帯低気圧と熱帯低気圧の違い

### 温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの線で切った断面図

上から見た図

### 熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達

